

平成 30 年 6 月 8 日

学校関係者評価委員会 議事録

学校法人 国際共立学園
学校関係者評価委員会
委員長 小林美貴

会議名	学校関係者評価委員会 定例会議
開催日時	平成 30 年 6 月 8 日 18:00～20:00(2 時間)
場所	新館 3 階 大会議室
出席者	小林 美貴(教育機関) 立花 正雄(業界・卒業生) 間仁田 厚(業界・保護者) 堀口 真理(業界) 和田 美義(理事長) 佐谷 肇(教職員、事務) 五十嵐 久乃(教職員、事務) 工藤 佑輝(教職員、事務) 鈴木 徹(教職員、事務) 山田 満佐裕(教職員、事務) 嶺 雄太(教職員、事務)
配布資料	自己評価報告書(事前配布) 各自自己紹介を行った
理事長より	
自己点検評価表に基づき質疑応答	
基準1 教育理念・ 目的・人材像	昨年度から変更なし。
基準2 学校運営	佐谷 肇 事業計画・運営組織について説明がなされた。 人事制度は本格的運用が行われている。 科ごとの目標は明確されているが、科や号館を超えて連携していくことが今後の課題である。 社会情勢に応じて変化させていく必要がある。今後も学則を改定していく。評価制度の導入によって改善されてきている 教務においては実技試験を実施し、入職後は研修を通じて学生指導を行っている。新システムを導入して現在は試験運用を行っている。今後は職

	<p>員全員が使えるようにしている。 業務改善を学校という立場で</p> <p>門脇 一緒に出来ればよいがなかなか時間が取れない。</p> <p>小林 美貴 どうしても仕事ができる人に偏ってしまう</p> <p>立花 正雄 離職率が心配になる。給料に反映されていけば問題ないが、自分だけと 思ってしまうのが怖い。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>佐谷 肇 教育方法・評価、入学前教育、資格・免許取得の指導体制等について説明がなされた。 教育の3本柱を十ゲンできるように行っていく。教育編成委員で出た意見は毎年カリキュラムに組み込んでいる。保護者向けの業界ガイダンスを行った。授業アンケートを行っている。実施して3年が経過しているため、内容を精査していく必要がある。符号者に対しては補習授業を行っている。一人一人に対して研修内容を確認して実力を伸ばす取り組みをおこなっていく。</p> <p>間仁田 厚 国家試験 100%を続けてほしい。</p> <p>立花 正雄 学科講師と年2回の講師研究会で意見交換を行い、授業後の話などで意見交換できているので4でいいのではないか</p> <p>門脇 アンケートを取る時に大事なのは人数が大切になる。分母の人数が多ければ多いほど反映される。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>佐谷 肇 就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会評価について説明がなされた。 KBFについては改革を行っている。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>佐谷 肇 学生相談、学生生活について説明がなされた。 職員で対応できない学生が増えてきている。</p>

	<p>門脇</p> <p>委員会を作って対応している。3ヶ月に1回会合を開いている。外部と連携していくのはどうか。</p>
<p>基準6</p> <p>教育環境</p>	<p>山田 満佐裕</p> <p>施設・設備、海外研修、防災・安全について説明がなされた。校舎が5つあり、校舎ごとで使えるものは回して使っている。ビジネス美容科のヨーロッパ研修旅行の内容を改定した。軽食を購入できる自販機を導入し台数も増加した。学生通用門の防犯カメラの位置を変更した。助成金を使って非常食を購入した。</p>
<p>基準7</p> <p>学生の募集と受け入れ</p>	<p>工藤 佑輝</p> <p>学生の募集と受け入れについて説明がなされた。業界の華やかなイメージと実際の現場とのイメージギャップであったり、奨学金の返済で困って離職しているケースが多いのではないかと。新制度の告知が遅かったため、早めの告知が必要である。体験入学の回数を見直し、毎月イベントを実施している。学校行事をSNSで紹介してもよいのではないかと。今年度から自己推薦の問題を各科ごとに準備をしている。</p> <p>立花 正雄</p> <p>%の計算を増やしてほしい。計算で躓く子が多くなっている。あるサロンで離職率の原因を調べた場合、アルバイトをしている人が続いているケースが多い。</p> <p>書く習慣が減ってきている。板書を書いて写すのではなく、携帯で写真を撮る学生が増えている。</p> <p>堀口</p> <p>高齢社会に対しての内容なので難しいのではないかと。手を使い仕事なので書く習慣を使えるものがないのではないかと。</p>
<p>基準8</p> <p>財務</p>	<p>五十嵐 久乃</p> <p>財務について説明がなされた。安定した運用を行っている。</p>

基準9 法令等の遵守	工藤 佑輝 法令等の遵守について説明がなされた。 各部署だけが理解するだけでなく、全職員がある程度理解できるようにしていくことが課題である。
基準10 社会貢献・地域 貢献	山田 満佐裕 社会貢献・地域貢献について説明がなされた。
まとめ	
その他	次回、学校関係者評価委員は平成 30 年 10 月 19 日実施予定。